



発と、すべての親が参加しやすい家庭教育学級づくりを支援し、家庭教育の充実を図ります。

少年教育につきましては、少年期は心身ともに調和のとれた人間形成の基盤を築く大切な時期であり、本町の特性を生かした多様な体験活動などを通じて、思いやりの心をはぐくむ事業などを、地域子ども会育成連絡協議会等の協力を得て進めてまいります。

青年教育につきましては、ピアモルトクラブでは、自らの資質向上や業種を超えたネットワークを形成するため、交流や学習等を実施しており、同クラブを中心に幅広い視野と豊か



量を高めるとともに、子どもたちが安全で安心して生活できる取り組みを推進できるよう、教育委員会も積極的に関わりながら学校の危機管理体制の改善・充実を図り、信頼される学校づくりに努めてまいります。

四項目は「**鹿追らしい一人一人の学びの実現**」です。

児童生徒に「生きる力」をはぐくむためには、学校、家庭、地域の三者がそれぞれの役割を果たし、責任をもって地域で育てることが大切であり、そのために、地域の実態に応じた「鹿追らしい一人一人の学びの実現」を目指し、特色ある教育活

用を推進する必要があります。本町におきましては、昨年4月より、第4期目となる文部科学省の**研究開発学校の指定**を受け、小中高までの12年間の一貫したカリキュラム研究を新たにスタートさせました。今後、持続可能な開発のための教育（ESD）や防災教育、町の「地域新エネルギービジョン」や「ジオパーク構想」を活かし、環境リテラシーを身に付けることをねらいとする体験活動を重視した「**新地球学**」の教育課程の改善・充実に努めてまいります。

また、「新地球学」の理解の深化と実社会における数学の活用を充実する観点からの「実社会数学」や「新地球学」で学ぶ環境問題、防災教育について英語でコミュニケーションできる能力を育成する観点からの「カナダ学」の取り組みの改善・充実に努めてまいります。

さらに、一人ひとりの能力や可能性を最大限に生かすためには、個のニーズに応じた指導や支援が大切であり、地域ぐるみで学校を支援する体制整備に努め、関係機関との連携の強化に

成人教育につきましては、学校教育を卒業し、社会人となつてからも「**学び**」を継続し、一人ひとりが豊かで充実した人生とするため、学習ニーズに応じたさまざまな学習機会の充実を図るとともに、然別火山群が作り出した素晴らしい環境の然別湖・永久凍土・風穴などの価値を理解し、学習するジオパーク構想を進めてまいります。

また、女性の持つパワーと団結力を生かし実施されている女性まつりやボランティア活動などの支援と裾野の広がりを進めてまいります。

高齢者教育につきましては、健康で、生きがいを持って生活をおくるために、高齢者教育の充実を図るとともに、長年培ってきた豊富な知識や経験を生かした社会貢献やまちづくり等の参加を促します。

芸術と文化につきましては、文化団体との連携を深め、自主的・創造的な芸術文化活動を支援します。また、町民の芸術鑑

よる特別支援教育の一層の充実も図ってまいります。

社会教育

私たちを取り巻く環境は、急速に進行する少子高齢化、高度情報化、技術革新、国際化等によって、個々の価値観や行動様式が多様化し、学習ニーズについても多様化、専門化が進んでいます。このように社会が急速に変化し、多くの課題をかかえる中、地縁や血縁とは異なる学びを通じた新たな仲間づくりは、人間関係をより豊かにします。

地域資源を生かし、町民の皆さま一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、豊かな心と自立の力を育て、人と人が連携するまちづくりを平成25年度から平成29年度を期間とする「第3次鹿追町生涯学習中期計画」に基づき、進めてまいります。

具体的には、活動の核となる町民ホール等施設の活用と町民の主体性が発揮される学習機会の創造を促し、学習の成果が新たな学習要求への連鎖を生み出

賞の機会を図ります。

神田日勝記念美術館につきましては、開館20周年を迎えることから、特別企画展・馬の絵作品展・展覧会事業などを実施し、町民の文化振興の拠点施設として利用促進と観光資源としての美術館を全国に発信してまいります。

図書館につきましては、高度情報化が急速に発展し、読書活動の低下が懸念されるため、子どもたちが自ら読書を行う事業の実施と安心・安全に利用できる「**知の拠点**」としての図書館活動の充実を図ります。

文化財保護につきましては、次世代に伝えるべき貴重な歴史



すような、学習と実践の循環に努めてまいります。

また、然別湖周辺の貴重な自然遺産の保全・学習・活用を目的として町全体で取り組まなければならない**ジオパーク構想**については、町部局と連携し、教育行政として可能な限りのアプローチを進めてまいります。

個別施策の取り組みでは、家庭教育につきましましては、「よく**食**べ」「よく**眠**る」という、成長期の子どもにとって必要不可欠な基本的生活習慣の乱れが原因で、学習意欲や体力低下をもたらすと指摘されており、子どもたちの生活リズムを向上させるため、家庭教育の重要性の啓



や郷土資料の掘り起こし作業と郷土資料保存館をオープンし、生活様式の変化や歴史風土の変遷を知る機会を充実します。

スポーツ振興につきましては、は、町民のだけれども、それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる環境の整備と、自宅や身近な場所で行える健康づくりなどについての情報提供、各種大会支援や体育連盟・スポーツ少年団などの活動支援に努め、町民ひとり1スポーツを進めます。

結びに

町民皆さまの負託に応えるため、本町の教育、文化、スポーツの振興に最善の努力を傾注いたしたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。